

第5章 にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち

～産業・経済の活性化～

本市は、県内や多摩地区からの集客力をもつ商業や、県内有数の生産量を誇る農業、豊かな自然やレジャー施設を活用した観光など、埼玉県南西部地域の中心都市として活気にぎわいを創出してきました。しかし、めまぐるしく変化する経済情勢、経営者の高齢化や後継者不足などは、市内の経済にも影響を及ぼし、産業全体の活性化が課題となっています。

今後は、農業・商工業・観光などの各産業の主体である民間経営者との協働はもとより、市民や市内大学との連携などにより、経営改善、新起業者の支援、企業誘致、所沢ブランドの確立などをめざし、雇用の拡大なども見据えて地域経済の活性化に取り組みます。

施策の体系

にぎわいと活力に満ちた魅力あるまち（産業・経済の活性化）



今後、5年間に重点的に取り組む事業

事業名	事業概要	事業費
地産地消推進事業 (農政課)	所沢産農産物の地元消費をはかるPRにつとめるとともに、新鮮かつ安全・安心な農産物の学校給食への導入や直売所における消費拡大を推進します。	百万円 30
	事業期間 平成15年度～（継続事業）	
商店街振興対策事業 (商工労政課)	地域経済の要である商店街が実施する共同施設の設置やさまざまなイベントの開催などに対し、予算の範囲内で補助金を支出し、商店街の振興と地域の活性化を支援します。	百万円 196
	事業期間 昭和57年度～（継続事業）	

※事業費は5年間の概算予算額で、財政状況によって変動する場合があります。

分野別の主な計画

計画の名称	計画の内容	ページ
所沢市中心市街地活性化 基本計画 (商工労政課)	中心市街地の都市基盤整備と商業等の活性化の一体的な推進がはかれるよう各種施策を連携させながら、魅力と活力ある中心市街地の再生をはかるための計画です。	P78～79 2節「商業」
	計画期間 平成15(2003)年度～	



特産品「狭山茶」の茶畑

第1節 農業

現況と課題

◆現況

農業経営者の高齢化や後継者不足、またそこから生じる遊休農地の増加、産地間競争の激化、さらには、輸入農産物の増加が引き起こす価格低迷による農業経営の圧迫など、農業を取り巻く情勢は年々厳しくなっています。

このような中、本市の農業は首都近郊という有利な立地条件のもとで、意欲ある農業者により、さといもに代表される露地野菜・茶を中心に、県内有数の農業産出額を維持しています。

【主な取り組み】

- 優良農地を保全し、遊休農地*とならないための改善指導を行っています。
- 農薬や化学肥料の使用量の削減や、農業用資材の適正処理などに取り組み、環境にやさしい農業を推進しています。
- 後継者の確保や育成のため、認定農業者制度の普及をはじめ、若手農業者や農業ボランティアの活動を支援しています。
- 地元農業の理解を深めるため、所沢産農産物の学校給食への利用や直売所「とことこ市」の設置など地産地消事業を推進しています。
- 休耕地*を活用したお花畑、市民農園等の農業体験を通じて、農業者と市民との相互理解や交流の機会拡充につとめています。

◆課題

- 基盤整備による優良農地の保全
- 優良農地の集約化
- 休耕地の活用
- 生産安定施設や機械の充実
- 減農薬などの安全と環境に配慮した農業の推進
- 家畜伝染病の発生防止と周辺環境対策の推進
- 後継者の育成・確保と女性の農業経営参画の推進
- 農業従事者以外の補助的労働力の確保
- 地元農業、農産物の積極的なPR

基本方針

- 安全で安心な農産物を安定供給するため、生産基盤の整備と経営基盤の強化を進めます。
- 農業者の減少と高齢化に対応するため、意欲と能力ある担い手の育成、確保に取り組むとともに、女性の参画を進めます。
- 所沢の農業、農産物への理解を深めるため、市民との交流やPRを進めます。

■主な農産物の種類別収穫量

農産物	収穫量 (t)	県内順位
さといも	4,410	1
ほうれんそう	3,340	3
にんじん	3,560	3
だいこん	1,190	3
茶	610	2

資料：埼玉県農林水産統計年報(H15～H16)



収穫量県内第1位のさといも

*遊休農地……実質的に過去2年以上不作付の状態となっている農地。
 *認定農業者……農業経営基盤強化促進法に基づき、自らの農業経営を改善しようとする農業者が、経営改善のための計画を作成し、市長の認定を受けた者。
 *休耕地(不耕作地)……何らかの事情で一時的に耕作されていない状態の農地であるが、耕作しようとするれば、いつでも耕作できるような農地。
 *優良農地……農業生産性の高い農地、集团的に存在している農地、農業生産性を高めるため農業に対する公共投資の対象となった農地のこと。
 *エコファーマー……環境と調和した農業に取り組み、国の法律に基づいて認定された農業者のことをいう。農業者(個人または農業生産法人)は、持続性の高い農業生産方式を導入しようとするとき導入計画を作り、これを県知事に提出して認定を受ける。

計 画

1. 生産基盤の整備

- (1) 優良農地の保全と活用の推進
生産性の向上をはかるため農業振興地域内の農用地を中心に有効利用を推進し、優良農地の保全に取り組みます。また、意欲ある農業者に農用地の集積をはかるとともに、遊休農地を減少するため農地の貸し手と借り手の情報を的確に把握し、農地の有効活用を進めます。
- (2) 生産施設・機械の整備
気象災害などに左右されない安定的・効率的な農業生産に必要な施設・機械の導入を支援するとともに、各種融資制度を充実します。
- (3) 総合的な土づくりの推進
家畜排せつ物や落ち葉などの有機物資源の活用を通じ、総合的な土づくりを進めます。
- (4) 環境に配慮した農業の推進
安全で安心な農産物を供給するため、農薬や化学肥料の使用量低減、使用済農業用資材の適正処理、有機物資源の活用を進めるとともに、環境に配慮した持続性の高い農業生産方式を導入したエコファーマー*認定者が増えるよう支援します。また、家畜や畜舎の適正管理につとめ、周辺環境に配慮した畜産を進めます。

2. 経営基盤の強化

- (1) 農業経営の安定化の推進
関係機関との連携のもと、経営感覚に優れた農業者などの育成に取り組みます。また、女性や後継者の経営参画を促すとともに、経営の発展をはかるための「家族経営協定」の締結を支援します。

- (2) 農業後継者や担い手の確保・育成
農業者の高齢化や後継者不足に対応するため、経営改善の補助や認定農業者などの育成に取り組みます。また、農業ボランティアなど農業外からの補助的労働力の確保を進めます。
- (3) 農業団体との連携・支援
関係機関や各種農業団体と連携をとり、情報を共有化し、農業経営に関する指導や共通課題の解決などを支援します。
- (4) 生産・出荷体制の充実
所沢ブランド品の生産拡大と安定供給をはかるため、総合的な出荷体制の整備・充実を進めます。
- (5) 農業者年金の維持
農業者が安心して生きがいを持って継続的に農業に携われるように農業者年金の維持に取り組みます。

3. 農とのふれあいの推進

- (1) 地産地消活動の推進
所沢産農産物の学校給食への利用や直売所、観光農園などを通じ、多くの市民に地元農業への理解をはかるとともに、地域内流通を進めます。
- (2) 市民とのふれあい活動の推進
農業祭などのイベントや学校教育との連携、市民農園などの各種農業体験、休耕地を利用したお花畑などを通じ、農業者と市民との交流、相互理解の機会拡大に取り組みます。
- (3) 積極的なPR活動
パンフレットやマップの作成、市ホームページやイベントを通じ、所沢市の農業や特産物に関する情報を積極的に市内外にPRをします。

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
認定農業者数	67人(H16)	85人(H22)
【説明】 農業振興策の成果を示す指標です。現状値は、意欲と能力のあるプロの農業者として認定される「認定農業者数」です。目標値は、毎年3人増加することをめざします。		
学校給食への所沢産野菜の使用率	61.5%(H16)	80%(H22)
【説明】 地産地消の取組状況を示す指標です。現状値は、学校給食センターでの年間給食実施日数のうち、所沢産野菜を使用した日数の割合です。目標値は、約20%の向上をめざします。		

第2節 商業

現況と課題

◆現況

本市は、西武新宿線と西武池袋線が交差する好立地条件などにより、広域的な商圏人口をもつ県南西部の商業中核都市として発展してきました。

しかし、景気の影響や経営後継者の不足、さらに、周辺地域の郊外型大型店の増加などにより、小売店数は減少し、商店街の空洞化も進んでいます。また、消費者ニーズの変化にあわせ、24時間営業や低価格均一料金の商店の増加など、商業形態も変化しています。

こうした状況から、市では所沢商工会議所をはじめ関係機関と協力しながら、所沢駅周辺の商業集積を維持するとともに、消費者ニーズを的確に捉えた魅力ある商店街づくりを支援し、本市のイメージアップと経済の活性化につとめています。

【主な取り組み】

- 商店街が実施する事業や共同で使用する施設の設置を支援しています。
- ところざわまつりや旬の市を開催し、地域とともにイメージアップや活性化に取り組んでいます。
- 所沢商工会議所、地元商店街、大学等との協働により、平成17(2004)年1月に中心市街地の商家(空き店舗、築100年)を利用した「井筒屋町造商店」を開店し、中心市街地の活性化や市民の交流の場として運営しています。
- 中小企業の経営に必要な資金を市独自の融資制度によってあつ旋し、金利負担を軽減するため利子補給を実施しています。

◆課題

- 街全体のイメージアップ
- 中心市街地の活性化
- 魅力ある商店街づくりの推進
- 商店街の組織強化
- 新たな商業経営者の育成
- 駐車場などの商業基盤の整備
- 交通アクセスの整備

基本方針

- 「所沢市商業振興条例」を制定し、地域の活性化に向け、市、事業者、団体が果たす役割を明確にし、地域経済の発展に取り組みます。
- 県南西部地域の商業中核都市として今後も商業集積を進めます。特に中心市街地活性化事業を強力に推進し、所沢のイメージアップと集客力の増加に取り組みます。
- 消費者ニーズに対応し、地域コミュニティの中心となる商店街づくりを進めます。
- 魅力ある街づくりを推進するため、商業関連施設の整備や若手事業者の育成、新規開業者の支援などに取り組みます。

■所沢市の小売業の推移

年度	商店数	従業員数	年間販売額
S63年	2,502店	13,631人	2,743億円
H3年	2,493店	17,146人	3,412億円
H6年	2,365店	15,721人	3,318億円
H9年	2,263店	15,546人	3,293億円
H11年	2,156店	17,074人	3,015億円
H14年	2,010店	16,324人	2,709億円

資料：商業統計調査



井筒屋町造商店

計 画

1. 魅力ある商業の振興

(1) 地域情報の積極的発信

市や所沢商工会議所、商店街などのホームページの充実、プロペビジョンの活用、商店街マップやガイドブックの作成、商店街イベント等を通じて所沢の商業の魅力を広く内外にアピールします。

(2) 中心市街地の活性化

「所沢市中心市街地活性化基本計画」に基づき、所沢駅を中心とした中心市街地の活性化をはかるため、中心市街地の商業基盤の整備をはじめ活性化拠点施設での情報発信など、所沢の顔として魅力あふれる街づくりに取り組みます。

(3) 地域の特性を活かした商店街づくり

商店街は、それぞれの街の活力の源として、お祭りやイベントの開催など地域住民と一体となった活動を積極的に支援します。

また、地域住民をはじめとする消費者ニーズの把握につとめます。

2. 経営基盤の強化

(1) 人材の育成

未来の所沢の商工業を担う若手経営者を育成するため、事業経営の調査・研究を積極的に奨励し、支援します。

(2) 新規開業支援の推進

新規開業・創業をめざす事業者を積極的に支援するため、所沢商工会議所と共同で経営相談や講習会の開催を行います。

(3) 融資制度の充実

市内中小企業の経営の安定化と経営基盤の強化を目的に低利の事業融資をあつ旋し、中小企業の振興に取り組みます。

(4) 経営指導の充実

市内中小企業の振興をはかるため、所沢商工会議所と共同で経営相談や経営セミナーなどを開催します。

3. 環境の整備

(1) 商業基盤の整備

魅力あふれる商店街を形成するため、商店街が共同で設置する街路灯や駐車場などの整備を積極的に支援します。

(2) 生活環境の保持

大規模小売店舗の出店にあたり、地域住民の生活環境の保全や、交通渋滞の回避などを関係機関と事前に協議し、市民が安心して買物ができる商業環境を整備します。

(3) 流通機能の整備

円滑な商業流通をはかるため、物流系企業の立地や流通機能の集積を進めます。



多くの人でにぎわうプロペ通り

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
年間販売額	2,848億円(H16)	3,000億円(H22)
【説明】 商店街の活性化や商業施策の成果を測る指標です。 現状値は、市内小売業の年間販売額です。目標値は、年間販売額3,000億円です。		
中心市街地商店街の出入	166,442人(H17)	185,000人(H22)
【説明】 街の賑わいや活性化など、商業施策の成果を測る指標です。 現状値は、中心市街地商店街（プロペ、ファルマン、昭和通り、仲通り）の休日の通行者数です。 (日栄会協同組合調べ) 目標値は、現状値より約20,000人の増加をめざします。		

第3節 工業

現況と課題

◆現況

本市の工業や製造業は、高度な技術や製品により、高い国内シェアを占める企業や世界的信用を得ている企業が少なくありません。しかし、中小企業が中心のため、景気の低迷などの経済情勢の影響を受けやすく、事業所数、従業者数、製造品出荷額とも年々減少しています。さらに、昨今の地球環境問題や急速な技術革新、高度情報化に対応した経営環境の確立などの対応も求められています。

市では、経営や生産基盤の強化に取り組み、技術革新や高度情報化に対応する人材育成の支援につとめています。

【主な取り組み】

- 三ヶ島工業団地を整備し、工業団地に入居している企業で組織する組合の債務軽減をはかっています。
- 企業の環境活動を促進するため、市と所沢商工会議所が連携し、国際認証規格 ISO 14001の集団取得を支援しています。

◆課題

- 「起業化」の促進と支援体制の構築
- 経営体質強化の支援
- 企業の情報化・情報発信の推進
- 技術革新や高度情報化に対応する人材育成の支援
- 新製品・新技術開発等の支援
- 所沢ブランドの確立
- 地場産業の育成



「Made In Tokorozawa」を刻印するフルーツ製造企業

基本方針

- 住工混在^{*}の解消と新たな産業活動の場として、工業団地の整備を進めます。
- 経営管理技術の向上や人材の育成に対する支援、融資制度の充実をはかるなど経営基盤の強化に取り組みます。
- 地場産業の育成と経営活動の情報発信機能の構築などを支援し、所沢ブランドの確立と広範なPR活動により、工業における所沢のイメージアップにつとめます。

■所沢市の工業の推移

年次	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品出荷額 (億円)
H3	582	15,594	4,311
H7	482	12,543	2,852
H11	445	11,462	2,103
H15	381	10,826	2,097

資料：工業統計調査

計 画

1. 生産基盤の整備

- (1) 工業団地の整備
住工混在の解消と中小企業の生産環境の整備をはかるため、地球の自然環境や生活環境に配慮した工業団地の整備を進めます。
- (2) 優良企業の誘致
研究開発力や技術開発力に優れた企業の誘致を進め、既存企業の技術力との融合をはかり都市型工業を促進するとともに、新産業への転換を支援します。
- (3) 起業化の促進
成熟社会を迎えた国内消費の多様化・高度化に対応した新しい地域企業の創造をはかるため、支援計画の作成や融資制度の充実等により、起業化に取り組みます。

2. 経営の向上

- (1) 経営活動の情報化
インターネットの利用による生産品目の需要拡大や生産技術の向上などITの活用について支援します。
- (2) 経営診断・指導の充実
経営診断^{*}や講習会などを通じて経営管理の技術向上をはかるなど中小企業の経営体質の強化を支援します。
- (3) 融資制度の充実
中小企業の経営の安定をはかるため、金融機関と連携しながら市独自の融資制度を充実させるとともに、国・県などの融資制度を積極的に活用します。

(4) 人材の育成

技術革新や高度情報化、国際認証規格ISO9001、14001の取得など時代に対応した経営者や技術者を育成するため、研修会や講習会などを開催し、人材育成を支援します。

(5) 新製品・新技術開発等のPR

多様な需要に対応した新製品・新技術のPRにつとめます。

3. 地場産業の育成

(1) 「所沢ブランド」の確立

他業種、特に商業者との連携や多様な展示方法を検討し、販路や取引の拡大を進めます。

(2) ものづくりに関する広範なPR活動

名産品や伝統工芸品等を多様な情報発信手段を利用し、広く周知することにより、新たな需要や販路の拡大を促進します。



伝統工芸「押し絵羽子板」づくり

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
製造品出荷額	2,097億円(H15)	2,150億円(H22)

【説明】 製造業全体の施策の成果を測る指標です。
現状値は、市内の事業所等が製造した製品の年間出荷額です。
目標値は、製造品出荷額2,150億円です。

^{*}住工混在……住宅と工場が混在する状態のこと。騒音等の生活環境に対する問題や、逆に産業活動の整備がすすめられないといった問題が発生しやすい。
^{*}経営診断……企業を財務・生産・営業・労務面等から科学的な分析を行って、企業の経営内容を健全な状態に回復させるための具体的な対応策を施すために活用される手法。

第4節 観光

現況と課題

◆現況

本市は、桜の名所として知られる狭山湖や武蔵野の雑木林等の豊かな自然と、プロ野球の本拠地球場や遊園地、ゴルフ場等のレジャー施設、ショッピングエリアの充実などから、埼玉県内をはじめ多くの人々が毎年訪れます。

また、航空発祥の地として知られる航空記念公園は、50haもの広大な敷地面積をもつ市民の憩いの場であるとともに、公園内の所沢航空発祥記念館や隣接する市民文化センター「ミューズ」では、気軽に文化や芸術に触れることができ、市内外の人々に親しまれています。

こうした観光資源を活かし、市では、所沢市観光協会をはじめとする関係団体と連携して情報提供を強化し、市のイメージアップにつとめています。

【主な取り組み】

- 所沢市観光協会や市ホームページを充実し、情報提供につとめています。
- 本市の観光資源の発掘と活用のため、所沢市観光協会では、平成17(2005)年に「ところざわ百選」を選定しました。
- 市の名所、旧跡、特産品をはじめ、市民に親しまれている手打うどん、狭山茶、焼だんごなどを紹介したガイドブックを作成しています。
- ぶどう狩り、なし狩り、芋掘りなど、1年を通じて多くの観光農園が営業しています。
- 西武ライオンズ所沢市民後援会に市も参加し、チームを応援するとともに、観客動員を支援しています。
- 市民文化センター「ミューズ」では、平成16(2004)年度に約50万人の来場者がありました。

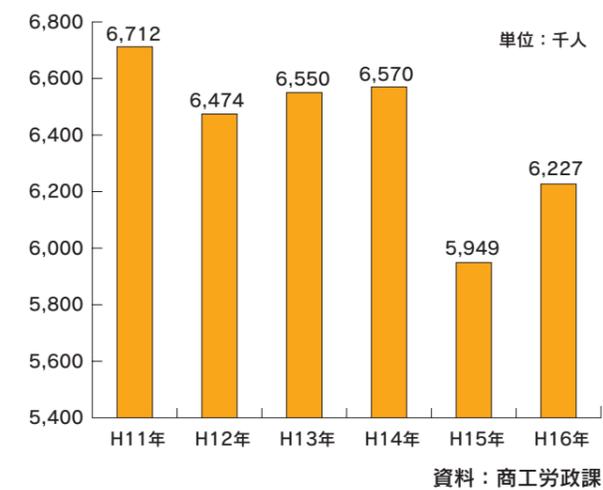
◆課題

- 市のイメージアップ
- ホームページ、宣伝広告、ガイドブック、ガイドマップ作成などによるPR強化
- 魅力ある商店街づくりとの連携
- 観光情報を提供する施設の整備・充実
- 周遊型観光環境の構築
- 観光資源の発掘、創造

基本方針

- 観光情報を積極的に発信し、情報提供と本市の魅力が再発見されるようつとめます。
- 所沢市観光協会や市民とともに、地域の特性を活かした観光活動を進め、イメージアップと地域経済の活性化につとめます。
- 幅広い視点で、観光資源の発掘、活用につとめます。

■観光客数



狭山湖

計 画

1. 観光活動の充実

(1) 観光PRの推進

所沢市観光協会や市のホームページの充実、映画やテレビ番組、CMなどの撮影の積極的な誘致(フィルム・コミッション*)、ガイドブックの作成、観光展の開催、観光案内板の整備などを通じ、市内の観光情報を市内外にアピールします。

(2) 観光イベントの充実

ところざわまつりや、手打うどんを活用したイベントなど、自然、文化、歴史、街並み、食物等を活用したテーマ性を持つイベントを各種団体と連携して開催し、市のイメージアップと地域経済の活性化に取り組みます。

(3) 観光団体の支援・育成

観光活動を活性化するため、所沢市観光協会などの観光活動を行っている各種団体を支援するとともに、観光ガイドなどの市民ボランティアを育成します。



所沢名物 手打うどん、焼きだんご

2. 観光基盤の整備

(1) 観光拠点等施設の整備

市内外からの観光客の要望に応えるため、案内機能をあわせ持つ、拠点施設の整備を進めます。また、市内に点在する観光地をバスや遊歩道などで結び、周遊型観光の構築に取り組みます。

(2) 観光資源の発掘、活用

現存する未活用の観光資源を発掘するために、情報収集や調査を進めます。また、人、物、伝統技術、文化、史跡などを活用するとともに、観光農園や本市を本拠地とするプロスポーツチームなど、幅広い視点で観光資源の活用を進めます。



ところざわまつり

5年後の目標

指標名	現状値	目標値
観光客数	6,227千人(H16)	6,800千人(H22)

【説明】観光地としての魅力度と観光施策の有効度を測る指標です。現状値は、市内を訪れる年間の観光客数で、暦年で集計します。目標値は、年間観光客数6,800千人です。

*フィルム・コミッション……映画、テレビドラマ、CMなどの撮影を誘致し、撮影をスムーズに進めるための非営利公的機関。撮影の誘致、支援活動の窓口として地域の経済・観光振興、文化振興に大きな効果がある。

第5節 消費生活

現況と課題

◆現況

都市化や情報化の進展などにより、消費者を取り巻く環境は日々変化しています。消費者相談の内容も多様化・複雑化し、架空請求などの新たな問題に関する相談も急増しています。こうした中、特に高齢者や若年者層の相談件数が増加しています。

本市では、消費者被害を防ぐため、適切な情報提供を行うとともに、消費者自身が問題解決に必要な対策を身につけられる環境づくりにつとめています。

【主な取り組み】

- 消費者問題の解決に向け、消費生活センターを中心に関係機関と連携しながら、消費生活相談員による相談業務を実施しています。
- 適正な販売や取引を確保するため、商品の品質表示や量について事業者への立入検査を実施しています。
- 消費者被害を防ぐための講演会や出前講座などを通じ、啓発や情報提供につとめています。

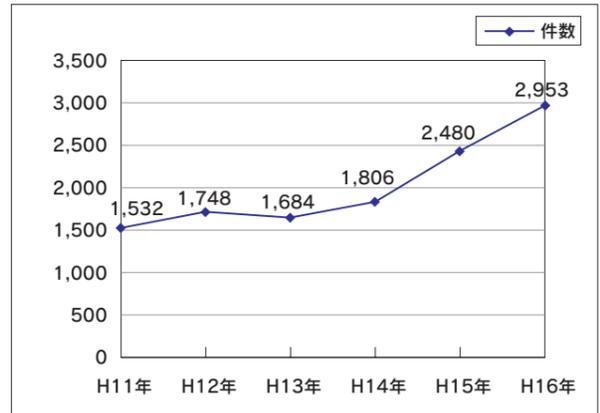
◆課題

- 多様化・複雑化する消費者問題への迅速・適切な対応の推進
- 消費者被害を未然に防ぐ環境の整備
- 販売者・生産者と消費者の相互に健全な消費生活の形成

基本方針

- 消費者相談業務を充実するとともに、商品や製品の販売・取引にかかわる安全対策を進め、健全な消費生活の確保を推進します。
- 消費者自らが考え行動できるよう、消費者教育や啓発を充実します。

■過去5年間の消費生活相談件数の推移



参考 相談時間 10:00~11:30 13:00~15:30
月一金（祝祭日を除く）

資料：所沢市消費生活センター



所沢市消費生活センター

計 画

1. 健全な消費生活の推進

(1) 相談業務の充実

多様化、複雑化する消費者相談に対応するため、消費生活相談員を中心に相談体制を充実し、県消費生活支援センターなど関係機関と連携しながら、迅速かつ適切なアドバイスを行います。さらに、消費者から寄せられた意見、要望、苦情等について、その改善を事業者に要請します。

(2) 適正な販売・取引の確保

商品・製品の安全性や適正な商品表示が確保され、消費者に届けられるよう、関係法令に基づき、事業者への立入検査を行います。

2. 消費者活動の促進

(1) 消費者教育・啓発の充実

消費者問題の解決や環境にやさしい消費生活の実践に向けて、必要な知識、能力を培い、消費者自ら行動できるよう、講演会や出前講座、パンフレット配布などさまざまな活動を通じて情報の発信を行い、消費者教育・啓発を進めます。

(2) 消費者活動の支援

さまざまな消費者活動が相互に連携・協力できるように、消費者団体やグループの活動を支援します。



計量検査

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
消費生活相談の解決度	月平均90%(H16)	現状値以上(H22)
【説明】消費生活センターに寄せられる商品、販売方法に関する相談・苦情の解決度を測る指標です。現状値は、相談結果を記載する消費生活相談カード（全国共通）の内容から、全相談件数のうち何らかの解決策を講じることができた件数の割合です。目標値は、現状値を上回ることをめざします。		

第6節 労働環境

現況と課題

◆現況

産業構造の変化とともに、従来からの終身雇用制度や年功序列による昇格・昇給制度の見直しなど、勤労者を取り巻く環境は変化しています。人々の就労意識も変化し、若年者層ではフリーターやニート*が増加し、大きな社会問題となっています。また、多くの中小企業においては、就労の安定や福利厚生

の充実が課題となっています。こうしたことから本市では、勤労者の就労支援とともに、勤労者と事業者の双方が安心して活動できる労働環境づくりのため、国や県の関係機関と連携して取り組んでいます。

【主な取り組み】

- 若年層を対象としたキャリア（職務経験）形成支援や、就労に対する不安や悩みを解消するための相談事業を、国との連携により実施しています。
- 就職希望者を対象に就業援助技能講座を実施しています。
- 家庭外での就労が困難な内職希望者に、相談とあつ旋をしています。
- 所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンター*の事業運営を支援し、福利厚生や退職金制度などの充実につとめています。
- 勤労者や事業主の仕事に関する悩みや疑問を解決するため、埼玉県西部産業労働センターと共催で労働相談を実施しています。

◆課題

- 求職者への就労支援の強化
- 若年者層の就労意識の変化への対応
- 中小企業の勤労者への支援策の充実

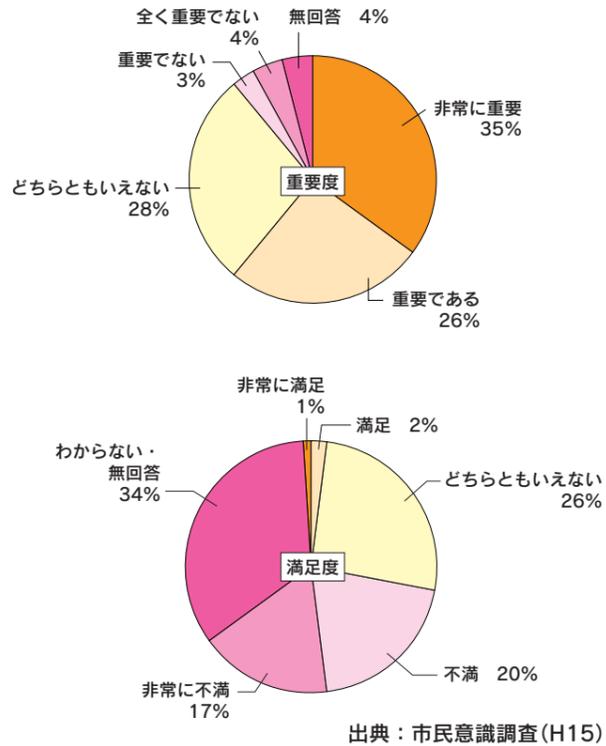
* 公共職業安定所(ハローワーク)と市の役割

- 公共職業安定所は、事業所と求職者の雇用関係の成立を支援するとともに、雇用保険の給付などを行っています。
- 本市は、公共職業安定所が隣接しているため、求人情報提供を主に行っています。他自治体では、福祉政策として、または公共職業安定所が遠距離などの理由から、許可を受け職業紹介を行っている場合があります。

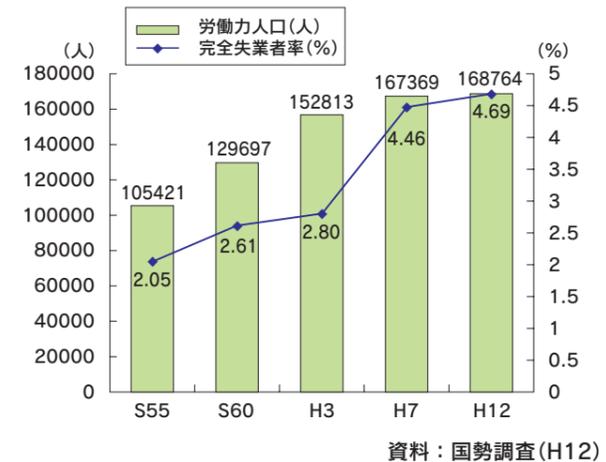
基本方針

- 求職者への雇用の確保、拡大に取り組むとともに、就労支援を進めます。
- 中小企業の勤労者福祉を充実します。
- 労働条件や労働環境の向上に取り組みます。

■就労場所の確保や支援に関する市民意識調査の結果



■市内の労働人口と完全失業者の推移



計 画

1. 雇用対策の推進

(1) 就労支援の充実

就職を希望する人に、技術や知識の習得ならびに資格の取得を目的とした講習会を開催するなど支援を行います。また、若年層を対象に就労に関する不安や悩みを解消するための相談事業を実施し、就労を支援します。

(2) 雇用の奨励

障害者や高齢者など就職困難者の雇用を促進するため、公共職業安定所など関係機関と連携しながら、事業者理解と協力を求めていきます。また、技能者の表彰を通じて技能尊重の気運を高め、雇用の安定に寄与していきます。

(3) 内職相談の充実

家庭外で働くことが困難な人のために、内職求人情報を積極的に収集し、適切な情報を速やかに提供できる態勢を整えます。

2. 勤労者福祉の推進

(1) 福利厚生事業の支援

所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンターの事業運営を支援するとともに、市内事業所が行う定期健康診断や退職金共済事業への助成により、勤労者の福利厚生の充実にに向けた支援を行います。

(2) 勤労者貸付制度の利便性の向上

勤労者住宅資金、就職活動資金、及び開業資金などの貸付制度の充実を行い、多くの方が利用できるよう整備します。

(3) 勤労者学習活動等の支援

勤労者が余暇を活用して教養を深め、また文化やスポーツ・レクリエーション活動に触れる機会を提供します。

3. 労働環境の向上

(1) 労働相談の充実

賃金や休暇などの労働条件や労務管理の改善など、勤労者あるいは事業者が抱えている問題を解決できるよう相談業務を充実します。

(2) 労働環境の整備促進

労働条件や職場環境などの調査や資料の収集を行い、また勤労者と事業者に対し労働時間の短縮や職場の安全衛生の向上、育児・介護休業制度の普及などについて啓発し、労働環境の向上を進めます。

5年後の目標

指 標 名	現状値	目標値
有効求人倍率	0.78倍(H16)	2倍(H22)
【説明】 市内の雇用状況を測る指標です。現状値は、所沢公共職業安定所（ハローワーク）に登録された有効求職者数に対する求人数の割合です。目標値は、求職者が2つ以上の仕事から就労先を選択できる状態をめざした数値です。		
内職希望者への斡旋率	60%(H16)	70%(H22)
【説明】 雇用対策への取組状況を示す指標です。現状値は、内職希望者の総数に対する内職があつ旋できた件数の割合です。目標値は、10%向上をめざします。		

*ニート……「Not in Employment, Education or Training」の略で、「職に就いていず、学校機関に所属もしていず、そして就労に向けた具体的な動きをしていない」若者を指す。現在、日本にはニートに分類される若者の数が約70万人と言われる。
*所沢市中小企業勤労者福祉サービスセンター……中小企業の従業員とその事業主の福祉向上を図り、市内中小企業の振興と雇用の安定、地域社会の活性化を目的に事業を行っている団体。(平成10年7月設立)入会金1人500円、会費1人月額1,000円。